

2月10日 雪の日の授業風景

前々から積雪になるかもしれないと予報が出されていた2月10日です。一時は吹雪かと思うほど、強風に綿雪が舞うようなときもありました。写真は二階ベランダ、光庭、2階渡り廊下からの風景です。



荒木先生の技術です。木材で棚を作っていました。7年生は全体的に上手です。文化発表会展示の部でも、なるほどねと思わせる作品がありました。ケガもなく、安全に作成できることも大切な学びです。成人したら、DIYを楽しむ人や職業にする人もいられるかもしれません。ものづくりは生活に密着した要素をもちます。実技教科の強みを感じました。

外は雪でも体育館の中は暖房が効いて、快適です。新校舎の良さのひとつは完全冷暖房の校舎ですね。

それでも移動する廊下などは寒いです。寒くなると、猫背になりポケットから手を出したくなくなり、筋肉もかたくなり・・・、ケガを引き起こすリスクが高まります。しっかりと準備運動をして、ケガの防止に努めましょう。



ここだけ見ると、雪が積もる地域にも見えそうです。

生徒たちは校庭に出て遊びたいと強く希望しましたが、実現できずに雪が解けました。

数年に一度は東京でも数cm積もります。すぐには解けない校庭になったら、遊ばせてあげたいなあと思う反面、寒くなってほしくないという気持ちもあります・・・。

